塩中だより

第３０号
令和３年２月１２日（金）
四日市市立塩浜中学校
（文責）　学　校　長

GIGA スクール～一人１台タブレットパソコン　Part1

最近、ニュースなどで「GIGA スクール構想」の文字をよく見るようになりました。

子どものころから ICT 環境になじみ、将来の社会で生き抜く力を育むために、１人１台の端末環境を備えた学校のあり方を政府が推進していくというのが GIGA スクール構想です。

ネットワークと１人１台端末の環境があれば、先生はすべての子どもの回答をその場で確認し、習熟度をチェックしながら授業の速度などを調整したり、理解できている子どもが少ない場合には重点的な知識の補充もできます。

一斉学習から、だれも取り残されない 21 世紀型の学習へ、GIGA スクール構想の主眼点がここにあります。

四日市市においても、各学校にタブレットパソコンを、生徒一人ひとりが使用できるように、配備されました。

もっとも効果を発揮しそうなのが「調べ学習」です。検索サイトや Web 情報の利用によって、これまでは図書館などで資料を引き写していた作業を、カット＆ペースで利用でき、スピードアップと内容充実を両立できます。また、知的財産権に関する学習も、その過程で可能になります。

また、50m走や走り高跳びなど、体育の時間の記録を蓄積し、自分の成長を確認できます。さらに、ムービーで、すぐれたアスリートのフォームを研究して、個々の能力アップにも結びつきます。

工夫次第でいろいろなメリットが生まれてくる GIGA スクール構想は、まさにアイデア勝負の世界といえそうです。

本校では、１人１台タブレット端末強化週間を設定し、それに向けて生徒一人ひとりがタブレット端末とキャリングケースに名前を書いて机の横にかけました。（写真は、２年生の様子です。）充電保管庫からタブレット端末を取り出し、教室でシールに名前を書き、タブレットに貼り、キャリングケースにも名札を付けました。

朝登校したら、充電保管庫から各自タブレット端末を取り出し机の横にかけておき、授業中いつでも使用できるように準備しておきます。帰りの会の後は、充電保管庫に戻します。

強化週間では「先生も生徒も授業でタブレット端末を使って、使いこなしていこう！！」をキャッチフレーズにすべての教科で使っていきます。ホームページでは、生徒が使っているところを紹介しています。

ぜひご覧になってください！！

英語の授業で、タブレットを使って英語劇のセリフを作成しました。

登場人物の久美、健、メイリン、ポール、エマ、ラージのセリフを2つのグループに分かれ、画面共有機能を使い他の生徒の画面を見ながら自分のタブレットにペンでセリフを書いていました。

生徒たちは、楽しそうに操作しながら学習していました。これからが楽しみです！

音楽のタブレット授業を紹介します。

現在ギターの授業を行っていて、コードで引く練習をしています。

自分のタブレットにコードを映し、練習しました。

この日は、ギター大好きな私も授業に参加しました。「カントリーロード」を練習し、そのあと「香水」や「裸の心」など各自で練習しました。

生徒たちはとても楽しそうで、すごく集中していました。